

祝 辞

新潟市医師会報50周年600号記念号に寄せて

新潟県医師会 会長 堂 前 洋一郎

新潟市医師会報50周年600号記念誌の発刊、誠におめでとうございます。1 / 2世紀にわたり発刊し続けてきたこと、そのご努力に対し関係者の皆様に敬意と祝意を表します。

1971年からの発刊と思われませんが、1971年は私にとっても記念の年です。新潟大学に進学して初めて一人で生活を始めた年だからです。それから50年も新潟に住み続け、本籍も新潟に移し、新潟駅についたとき「ああ、やっと帰ってきたか」と感じることに、育った遠州地方の方言を聞いてもなんとなく懐かしさは感じるものの違和感があることなどを考えると、新潟はもう私にとってのふるさとと言っても過言ではないと思います。人生の中での50年はそのくらいの重さがあるということかもしれません。

私にとって新潟市医師会報の中で最も気に入っているのが「わたしの好きな店」です。いつから始まったかは記憶にないのですが、医師会入会時にはすでに連載が始まっていたような気がします。いつも会報が手元に届くとわくわく感を持って一番先にこのページを開きます。巻頭言や他の重要な記事ではなくこのページを見るのは少し不遜な気もしますが、読みやすく、期待感があるからです。このページに多く取り上げられているのが飲食店なので、果たして今回はどんな店が紹介されているのかなと思うことと知っているお店がでていればなるほどと思うことです。このページの投稿者は近所の店を紹介していることが多く、その店の雰囲気、またおすすめのメニューなども紹介してく

れています。知らないお店ですと今度必ず行ってみようと思うのですが、なかなか行く機会がなく残念です。知っている店の紹介ではなるほどと同意することが多いのですが、たまに自分の印象と違う紹介があったときはどうしてかと考えてしまい、今度行ったときには違う見方をしてみようと思うことが楽しいのです。

投稿してくれる先生方は舌も肥えており、それなりの素晴らしいお店を紹介してくれています。大切なものは人に紹介したくないのが人情です。テレビ、雑誌で紹介されるとそのお店の予約を取るのが難しくなり、また常連さんが排除されることが多いのですが、医師会報ならばそんなことはないので一番のお気に入りの店を紹介してくれているのだと勝手に解釈しています。

次に読むのが「マイライブラリィ」です。この記事は会員の好きな本、いろいろなジャンルの本、映画などが紹介されています。以前から読書は好きですが、1冊読破するのに時間がかかることが難点です。しかし、この「マイライブラリィ」は新聞などの書評と違って、投稿者の気持ちが入っており、やや文章も長く、読んだ気にさせてしまう魅力があります。これも「わたしの好きな店」と同様に長く連載してほしいものです。

このように医師会報は学術の記事ばかりでなく、会員をほっとさせる記事も重要です。この編集方針が長く続き100周年1200号記念号が出ることを期待しております。